

2016年12月01日

住友林業株式会社

住友共同電力株式会社

～日本最大級※1の発電規模50MWバイオマス発電開始～ 紋別バイオマス発電所 営業運転開始について

住友林業が住友共同電力株式会社(本社:愛媛県新居浜市、社長:山本 一心)と合弁で設立した紋別バイオマス発電株式会社(本社:北海道紋別市、社長:高田 晴郎)が運営する紋別バイオマス発電所は、本日12月1日に営業運転を開始しました。

紋別バイオマス発電所は発電規模50MW、オホーツク地域の未利用木材を主燃料とした日本最北端の大型バイオマス発電施設です。

燃料として利用する木質チップは隣接するオホーツクバイオエナジー株式会社(本社:北海道紋別市、社長:山東 正典)が自社生産するほか、協力工場から集荷した木質チップや輸入PKS※2、補助燃料の石炭など多様な燃料を利用します。

住友林業の紋別での山林経営は1917(大正6)年に開始し、来年で100周年を迎えます。これまでも道内の森林資源の価値向上と地域の発展・共生に努めてまいりました。

林業と電気事業の連携を推進することで、これまで以上に地域に根ざした事業モデルを構築するとともに、長期安定した運転を行ってまいります。

住友林業では再生可能エネルギーによる発電事業を2019年3月までに200MW規模※3まで拡大する方針を定めており、引き続き新規事業の立ち上げを加速していきます。

住友共同電力は今後も再生可能エネルギーの活用を推進することとしており、適した事業地点があれば事業展開の検討を進めてまいります。

※1 国産材を主燃料とした発電施設として国内最大規模となります(2016年12月1日現在)

※2 PKS(PALM KERNEL SHELL):ヤシの実の種の殻

※3 計画段階のものを含む

1. 紋別バイオマス発電所概要

(1)所在地所 北海道紋別市新港町4丁目6番地



(2)発電規模 50MW

(3)燃料 木質チップ(計画使用量約22万トン/年)、輸入PKS(同約5万トン/年)、石炭(同約5万トン/年)

(4)主要設備 発電設備(循環流動層ボイラ、タービン発電機、冷却塔方式)

2. 工事の概要

- ・2014年 11月 バイオマス発電所基礎工事着工
- ・2016年 9月 試運転開始
- ・2016年 11月 竣工
- ・2016年 12月 営業運転開始

3. 関連事業

オホーツクバイオエナジー株式会社の設立

木質資源を木質チップに加工し、発電所で使用する燃料の一部を供給する。発電所に隣接しており、2016年8月から操業開始。

4. ご参考

(1)バイオマス発電会社

名称 紋別バイオマス発電株式会社
本社 北海道紋別市新港町4丁目6番地
資本金 4.9億円(住友林業249.9百万円 住友共電240.1百万円)
出資比率 住友林業51% 住友共電49%
代表者 高田 晴郎
事業内容 木質チップ、輸入PKSおよび補助燃料として石炭を使用したバイオマス発電事業
URL <http://www.mbep.co.jp/>

(2)燃料チップ製造会社

名称 オホーツクバイオエナジー株式会社
本社 北海道紋別市新港町4丁目6番地
資本金 1億円(住友林業51百万円 住友共電49百万円)
出資比率 住友林業51% 住友共電49%
代表者 山東 正典
事業内容 燃料チップの生産および販売

以上

《リリースに関するお問い合わせ先》

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 大西・真鍋

TEL:03-3214-2270

住友共同電力株式会社

総務環境部 土岐

TEL:0897-37-2142

《事業に関するお問合わせ》

紋別バイオマス発電株式会社

TEL:0158-24-6230

オホーツクバイオエナジー株式会社

TEL:0158-23-1191